



「住んでよし働いてよし訪れてよし」の 生涯を完結でききる空の港まちなりた

明けましておめでとーございませす



成田市長
小泉一成

市民の皆様には、令和5年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

今年には飛躍してゆく年といわれる卯年です。大きな耳で情報を的確に捉え、しっかりとした足で前へ前へと力強く飛び跳ねる「ウサギ」にあやかり、本市が大きく飛躍する年となることを願っております。

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、市民の皆様、事業者の皆様、そして医療従事者の皆様には感染症の拡大防止対策にご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

本年は本市の将来を見据えたまちづくりを進展させる年となります。

成田空港については、3本目の滑走路の建設やB滑走路の延伸といった更なる機能強化が、市民の皆様のご理解のもと順調に進められております。さらに現在、ワンターミナル化やアクセスの改善などの中長期的な課題や環境変化に対応可能な「新しい成田空港」構想が検討されており、私も委員として検討会に参画しております。更なる機能強化が実現いたしますと、空港内において3万人もの新規雇用が創出されるなどの効果が見込まれており、本市や空港周辺地域にさらなる発展をもたらす最大の地方創生であります。

今後は、人と物の流れがさらに活発になることから、不動ヶ岡地区、吉倉・久米野地区、東和田南

部地区の土地区画整理事業などの新たな都市基盤の整備、空港周辺地域における土地利用規制の緩和、空港へのアクセスが向上する圏央道・北千葉道路といった広域道路ネットワークの活用などにより人口増加や物流機能などの受け皿をしっかりと確保していく必要があります。

また、これらのまちづくりと併せて、コロナ禍で落ち込んだ観光需要の回復に向け、感染症の拡大防止対策を講じながらイベントを開催し、にぎわいの創出や観光客の誘致など、交流人口の増加を図ることも必要となります。

本年も「輝かしい成田」を未来へつなぐまちづくりを進め「住んでよし働いてよし訪れてよし」の次世代に誇れる空の港まち、生涯を完結できるまちを実現するための一年となること、そして市民の皆様にとって良き一年であることを心より願い、年頭のごあいさつといたします。



初詣客でにぎわう成田山新勝寺